











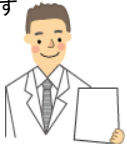


ID:

様 入院診療計画書 病名/症状(/) 椎弓切除術をうけられる方へ

	入院・手術前日 (/)	手術前 (/)	手術後 (/)	手術後1日目 (/)	手術後2日目 (/)	手術後3日目 (/)	術後4～7日目 (/)～(/)	術後8日目～退院日 (/)～(/)
	検査			手術室でレントゲンを撮ります 手術後に血液検査をします				7日目:レントゲン検査 
処置		ストレッチャーで 手術室(5階)に行きます	酸素マスクをします (状況を見て外します) 傷口には管が入っています	傷口の管を抜きます ガーゼ交換をします (その後1週間は傷の状態を診て処置を行います)				
薬	眠れない時は安定剤の内服があります			痛み止めのお薬が始まります 				
注射	状況に応じ薬剤師がご説明に伺います	点滴をします 		朝と夜に抗生剤の点滴があります				
食事	手術前日の21時以降は絶飲食です 特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無			朝から食事ができます				
清潔	シャワー浴をします	タオルで体を拭きます					傷の確認後、問題なければシャワー浴できます 	
活動	普段どおりに過ごして頂いて構いません 		ベッド上安静です 	ベッドを90度上げることができます ベッドの横で座ることができます 車椅子に乗れます				
排泄	特に制限はありません		手術中に尿の管が入ります (状態を見て抜きます)	(コルセットをつけて) 車椅子でトイレに行けます 				
リハビリ	「総合実施計画書」を作成し、ご説明の上リハビリを開始します							
総合的な機能評価	65歳以上、又は特定疾病を有する40歳から65歳未満の方は総合的な機能評価を行います							
看護計画	担当看護師が看護の計画についてご説明いたします							
説明	主治医より手術の説明があります 麻酔科医、病棟看護師、手術室看護師より手術の説明があります		主治医より御家族の方へ手術結果の説明があります 傷が痛む時は我慢せずに、看護師にお知らせ下さい 痛み止めを使うことができます 				ソーシャルワーカーが介入し、 退院・転院の話を進めていきます 	
その他			傷から管が出ているので動くときは 管が抜けないように気をつけましょう					

この予定表は、患者さんの状態に応じて変わることがあります。
何かご質問があれば看護師にお尋ねください。

主治医 _____ 年 月 日
看護師 _____ 年 月 日

管理栄養士 _____
セラピスト _____

患者署名 _____ 年 月 日
代諾者署名 _____ (続柄) _____ 年 月 日

薬剤師 _____